

平成29年度行政評価 事務事業評価シート(平成28年度実績)

事務事業コード	020102010	予算コード	01049210	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A
事務事業名	学校安全緊急対策事業			正規職員数 0.25	国庫支出金 0	有効性	A	引続き、市内13小学校の正門、あるいは通用門脇の受付室に受付員を常駐させ、来訪者の確認を行い、不審者発見時通報を行うことが必要である。 児童生徒が巻き込まれる事件や事故が多発する中、保護者のニーズも学校の安全対策に対する要望が増えてきている。学校敷地内だけではなく、通学路等の対策も含めスクールガードリーダーの増員も含めて検討が必要である。	
担当課	学校教育課			嘱託職員数 0.5	府支出金 345				
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0.03	市債 0	効率性	B		
				歳出(千円)	その他 0				
				人件費総額 4,232	一般財源 17,045	妥当性	A		
					減価償却費 0				
					事業費 13,158	受益者負担	該当なし		
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	17,390	緊急性	A		
実施手法	一部委託			市民1人当たりコスト(円)	172				
対象				活動指標	H28実績	公的関与	A		
特定の市民		対象数	5493	のべ配置人数	4,065.0			市内13小学校の正門、あるいは通用門脇の受付室に受付員を常駐させ、来訪者の確認を行い、不審者発見時通報を行う。	
市内13小学校の児童及び教職員						実施主体・委託化	B		
事業の内容						他の事務事業との関連	A		
市内13小学校の正門、あるいは通用門脇の受付室に受付員を常駐させ、来訪者の確認を行い、不審者発見時通報を行う。 スクールガードリーダーによる学校の巡回指導と評価等の実施を行う。				成果指標	H28実績	透明性	該当なし		
				のべ配置日数	2,680.3				
						財政健全化計画	該当なし		
						財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標	H28実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的				対象者1人当たりの経費	3,165.8				
小学校において、学校安全管理マニュアルに基づき、来校者のチェック、不審者発見時の通報を行うための要員の配置を行い、学校生活の安全を守る。 学校や通学路における子どもの安全確保を図る。									